ひかり

第59号
(令和元年11月)
浄光寺寺報

山形市八日町
2-4-35
(023)622-6010

令和元年　開運星祭り法要のご案内

記

十二月十五日（日）
午前十一時　北辰妙見大菩薩法楽会
法要終了後　開運福引抽選会
抽選会後　昼食

特別加持祈祷料　二千円
星祭りお守り一体　三百五十円

※古札等をお持ちの方はご持参下さい
※申込・変更のある方は七日頃までご連絡下さい



明年の開運や身体健全等を祈願すべく、開運星祭り法要を営みます。皆様お誘い合わせの上、ご参拝くださいますようご案内申し上げます。

長栄威徳天　太歳新春祈祷のご案内

記

正月一日・二日　午前十一時
※午後の部なし



例年新春祈祷は午前と午後の部にて二度執り行われておりましたが、本年より午前十一時のみ執り行う運びとなりました。午前中のご都合がつかない方には、御祈祷後に御札を郵送する等の対応をいたしますので、事前にお寺までご連絡下さい。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

各種御祈祷料　二千五百円
絵馬一体　千円

〈御祈祷例〉
家内安全・身体健全・交通安全
事業繁栄・商売繁昌・除災得幸
心願成就・厄除祈願
当病平癒・合格祈願
就職祈願　など



台風・大雨による被災について

今般の東日本を襲った台風やそれに伴う大雨により、日蓮聖人ご生誕の千葉県南部をはじめとして、延べ五百ヶ寺以上の寺院より被害が報告されております。特に被害の大きい寺院においては、本堂や庫裡の損壊、山門の全損などに遭われており、協力が必要とされています。

つきましては日蓮宗宗務院主導のもと、被災された寺院の復興並びに宗門関係被災者の方々の助力となるべく、義援金勧募活動が行われております。当山においても各種法要やお正月に当勧募活動の義援金箱を設置いたしますので、ご理解頂ける方はご支援を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

なお当山の建物や墓地を含む境内においては被害は出ていないと確認しておりますが、なにかお気づきの点がありましたらご連絡ください。早急に対応を検討いたします。



境内清掃奉仕のご案内

記

十一月二十五日（月）
午前九時半　集合・随時清掃開始
午前十二時　昼食後解散



年末に向けてご多忙の方が多いとは思いますが、本年も右記日程にて境内清掃奉仕をお願いする次第でございます。主に本堂前中庭の落ち葉を掃き清めます。ゴミ袋・竹箒・熊手の用意はございますが、手袋につきましてはご奉仕いただく皆様にお持ちいただくようお願いしております。

なお雨天・積雪等の状況によって中止となる場合がございます。天候が崩れる予報が出ている場合には、お手数ですが事前にお寺に確認の電話を下さいますようお願い申し上げます。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。



令和元年　秋彼岸法要　ご報告

九月二十日の彼岸入りの日に合わせて秋彼岸法要が営まれました。さわやかな秋晴れのなか、多くの方々にご参拝いただきました。

また浄光寺秋の風物詩でもある銀杏が色づきはじめていました。寺報を執筆している十一月上旬の時点では、まだ小さな実が落ち始めたばかりです。中旬頃からたくさん実が落ちると思われますので、欲しい方はいつでも拾いにきてください。





令和元年　宗祖報恩会式法要　ご報告

十月二十日に浄光寺・玄妙寺の合同宗祖報恩会式法要が玄妙寺にて執り行われました。日蓮聖人が弘安五年（一二八二）十月十三日にご生涯を閉じられてから、第七百三十八遠忌を迎えることとなりました。法要では有志の方々に和讃を奉唱していただき、日頃の日蓮聖人のご加護に深謝いたしました。

日蓮聖人が御入滅なされた東京の池上本門寺では、毎年十月十二日の夜に万灯練供養が行われますが、本年は台風十九号の接近に伴い行列が中止と相成りました。



天災による被害が相次ぐ昨今、日蓮聖人の提唱された立正安国を実現するべく、より一層国や世界が平和になるように、隣人互いに手を取り合って協力しなければならないと改めて考えさせられる法要となりました。

《秋彼岸法話》　山崎英宰上人

日本の仏教は主に十三宗派あり、派閥も分けて数えると五十六種あるとされています。それぞれの宗派では唱えているお経も異なります。日蓮宗でお唱えする法華経をはじめとして、般若心経、阿含経などすべて合わせると八万四千種類あると言われています。何故、このようにお経の種類がたくさんあるのか。それは、お釈迦様が一人ひとりに合わせて教えを説いたものがお経だからです。遊びすぎている人には働きなさいと、働き者には休みなさいと、その人に合わせた教えがお経となったので、数多くの種類が存在するのです。

では、私達がお唱えしている法華経はどのようなものでしょうか。法華経はお釈迦様が晩年に説いたもので、すべてのものが仏になれると初めて説かれたお経です。法華経ではその当時生きていた人々だけでなく、未来の人々も仏になれると説かれています。法華経は未来の我々のためにも説かれているのです。聖徳太子によって日本に初めて持ち込まれたと言われている法華経ですが、非常に難しい内容であったため、その当時広く弘められることはありませんでした。

その後、日蓮聖人が比叡山をはじめた多くの寺院で仏教の教えを学び、法華経こそお釈迦さまの真の教えであると確信を得られ、「南無妙法蓮華経」のお題目を唱えられました。お釈迦様の智慧と慈悲を五文字に宿らせた「妙法蓮華経」、その五文字に心から帰依することを表す「南無妙法蓮華経」というお題目を受け入れることで、お釈迦様の功徳を譲り受け、法華経で説かれている通りに誰もが仏となることができると弘教されたのです。



今を生きる私達がこの有り難い法華経やお題目と出会うことができたのも、ご先祖様が護り引き継いできてくれたからです。本日これより営まれる秋彼岸法要は、祖先の霊をご供養する法要です。ご先祖様やお世話になった方々への感謝の心を持ち、法華経とお題目をお唱えしてご一緒にご供養いたしましょう。

